



2019年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年7月3日

上場会社名 川口化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4361 URL <http://www.kawachem.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田吉隆
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 荻野幹雄 (TEL) 048-222-5171
 四半期報告書提出予定日 2019年7月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年11月期第2四半期の連結業績(2018年12月1日～2019年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年11月期第2四半期	3,723	2.8	30	△61.2	31	△59.9	20	△64.4
2018年11月期第2四半期	3,622	2.1	77	△56.8	78	△55.5	57	△54.3

(注) 包括利益 2019年11月期第2四半期 6百万円(△87.7%) 2018年11月期第2四半期 49百万円(△62.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年11月期第2四半期	16.77	—
2018年11月期第2四半期	47.10	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年11月期第2四半期	7,178	1,816	25.3
2018年11月期	6,780	1,847	27.2

(参考) 自己資本 2019年11月期第2四半期 1,816百万円 2018年11月期 1,847百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年11月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2019年11月期	—	0.00	—	—	—
2019年11月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年11月期の連結業績予想(2018年12月1日～2019年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	7,600	△0.1	150	△38.3	150	△37.5	100	△40.5

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 — 社 除外 — 社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2019年11月期 2 Q	1,220,000株	2018年11月期	1,220,000株
2019年11月期 2 Q	2,181株	2018年11月期	2,181株
2019年11月期 2 Q	1,217,819株	2018年11月期 2 Q	1,217,862株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3 「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年11月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、海外においては、中国景気の減速が継続し、EUや米中における通商問題の動向が世界経済に与える影響により、不透明感のある中で推移しました。

一方、国内においては、輸出や生産に弱さがみられるものの、個人消費が底堅く推移し、設備投資が好調を維持するなど緩やかな回復基調が継続しました。

当社の関連する国内の自動車業界においては、自動車生産台数やゴム工業用品生産は前年同期並みで推移し、タイヤ並びに合成ゴムの生産は前年同期をやや上回りました。

このような環境の中、新規需要への対応、新製品の紹介、内外の需要変動に対する積極対応に注力した結果、ゴム薬品においてはタイヤ向け、合成ゴム向けの販売が伸長し、売上が前年同期を上回りました。樹脂薬品並びに中間体は、顧客の需要変化への生産対応や、積極的な販売活動を行った結果、売上が前年同期を上回りました。その他薬品は品目ごとの増減がありましたが、新製品や新規需要での受注増により売上が前年同期を上回りました。

主要原料価格は、不安定な原油・ナフサの価格動向や、中国における化学品プラント事故の影響を受けるとともに、生産に必要な関連副資材価格や販売諸経費が上昇しました。この影響を最小限とするため、原材料の安定調達とコストダウンを行うとともに、生産において合理化検討を行い、生産数量や時期対応並びに人員配置の効率化に対し全社を挙げて取り組みました。また、当期竣工の新設工場稼働立ち上げに対し全力で取り組みました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は37億23百万円（前年同期比2.8%増）、営業利益は30百万円（前年同期比61.2%減）、経常利益は31百万円（前年同期比59.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は20百万円（前年同期比64.4%減）となりました。

セグメント業績の概況は次のとおりであります。

① 化学工業薬品事業

売上高は、37億4百万円（前年同期比2.8%増）、セグメント利益(営業利益)は15百万円（前年同期比76.0%減）となりました。

② 不動産賃貸事業

売上高は、18百万円（前年同期比0.8%減）、セグメント利益(営業利益)は15百万円（前年同期比1.0%減）となりました。

(化学工業薬品事業の部門別の概況)

<ゴム薬品>

工業用品向けゴム薬品は、加硫剤について前年同期を上回りましたが、老化防止剤の一部製品において顧客の需要減により前年同期を下回った結果、売上は前年同期を下回りました。タイヤ向け薬品並びに合成ゴム用薬品は国内需要が伸びた結果、それぞれ売上は前年同期を上回りました。海外向けは、新製品の顧客開拓と顧客の需要変動や要望に対し積極的対応により売上が伸びた製品もありましたが、一部顧客での稼働低下の影響により、売上は前年同期を下回りました。

この結果、国内・輸出合わせてのゴム薬品の売上は、22億30百万円（前年同期比0.4%増）となりました。

<樹脂薬品>

樹脂薬品の分野は、国内向けは、主要顧客であるアクリル酸・アクリル酸エステルが生産が堅調で推移しました。当社の主要製品において増減がありましたが、堅調な顧客需要動向もあり、全体では前年同期を上回りました。海外向けは、既存顧客に対する拡販活動を積極的に行った結果、売上は前年同期を上回りました。

この結果、樹脂薬品部門合計の売上は4億36百万円（前年同期比7.6%増）となりました。

<中間体>

中間体部門は、界面活性剤中間体は、主要品目で販売増となり売上は前年同期を上回りました。染顔料中間体は、新規販売先の獲得により売上は前年同期を上回りました。農薬中間体は、主要品目において受注が下半期となり売上減となった結果、売上は前年同期を下回りました。医薬中間体・機能性化学品は、海外向けは前年同期をやや下回りましたが、国内で受注を獲得し、売上は前年同期を上回りました。

この結果、中間体部門合計の売上は4億1百万円（前年同期比12.2%増）となりました。

<その他>

環境用薬剤は、年末年始の需要減により売上は前年同期を下回りました。潤滑油向けは品目により増減がありましたが、全体では前年同期を下回りました。新規用途向けは、一部製品の販売が前年を下回ったものの、新規製品の売上が増加し全体では前年同期を上回りました。

この結果、この部門合計の売上高は6億36百万円（前年同期比3.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産につきましては71億78百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億98百万円増加いたしました。これは主に、受取手形及び売掛金が1億24百万円減少したことに対し、有形固定資産が4億38百万円増加したことによります。

負債につきましては53億61百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億28百万円増加いたしました。これは主に、短期借入金が1億80百万円、流動負債その他の設備支払手形が2億36百万円増加したことによります。

純資産につきましては18億16百万円となり、前連結会計年度末に比べ30百万円減少いたしました。これは主に、利益剰余金が16百万円、その他有価証券評価差額金が10百万円減少したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年11月期の連結業績予想につきましては、2019年1月15日に公表いたしました連結業績予想の数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	674,771	662,137
受取手形及び売掛金	2,447,624	2,323,057
商品及び製品	802,319	875,948
仕掛品	304,554	283,821
原材料及び貯蔵品	290,395	317,837
その他	28,672	52,477
貸倒引当金	△4,160	△3,949
流動資産合計	4,544,177	4,511,330
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	707,880	1,234,776
その他(純額)	1,283,947	1,195,869
有形固定資産合計	1,991,828	2,430,646
無形固定資産		
その他	16,111	23,901
無形固定資産合計	16,111	23,901
投資その他の資産		
その他	242,719	215,193
貸倒引当金	△14,074	△2,174
投資その他の資産合計	228,644	213,019
固定資産合計	2,236,584	2,667,566
資産合計	6,780,762	7,178,897
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,193,643	1,147,736
短期借入金	1,850,000	2,030,000
1年内返済予定の長期借入金	579,488	576,408
未払金	247,861	276,569
未払法人税等	39,889	16,126
未払消費税等	917	—
役員賞与引当金	15,000	6,000
その他	350,017	675,134
流動負債合計	4,276,816	4,727,975
固定負債		
長期借入金	82,886	45,082
役員退職慰労引当金	86,792	91,310
退職給付に係る負債	335,730	347,854
その他	151,224	149,776
固定負債合計	656,633	634,023
負債合計	4,933,450	5,361,998

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	610,000	610,000
資本剰余金	58,437	58,437
利益剰余金	1,150,730	1,134,619
自己株式	△7,714	△7,714
株主資本合計	1,811,454	1,795,343
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,975	17,174
為替換算調整勘定	7,882	4,380
その他の包括利益累計額合計	35,857	21,555
純資産合計	1,847,312	1,816,898
負債純資産合計	6,780,762	7,178,897

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年12月1日 至2018年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年12月1日 至2019年5月31日)
売上高	3,622,056	3,723,850
売上原価	3,012,507	3,133,896
売上総利益	609,548	589,954
販売費及び一般管理費	531,803	559,822
営業利益	77,744	30,131
営業外収益		
受取利息	321	403
受取配当金	876	1,129
貸倒引当金戻入額	—	2,340
受取保険金	—	2,014
受取手数料	2,419	—
その他	4,707	7,273
営業外収益合計	8,325	13,160
営業外費用		
支払利息	6,355	6,684
貸倒引当金繰入額	639	—
為替差損	436	4,842
その他	338	350
営業外費用合計	7,770	11,877
経常利益	78,299	31,415
特別利益		
国庫補助金等収入	—	2,710
特別利益合計	—	2,710
特別損失		
固定資産除却損	2,363	1,237
特別損失合計	2,363	1,237
税金等調整前四半期純利益	75,936	32,887
法人税、住民税及び事業税	11,315	11,041
法人税等調整額	7,255	1,423
法人税等合計	18,570	12,464
四半期純利益	57,365	20,423
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	57,365	20,423

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年12月1日 至 2018年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年5月31日)
四半期純利益	57,365	20,423
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,787	△10,800
為替換算調整勘定	0	△3,501
その他の包括利益合計	△7,787	△14,302
四半期包括利益	49,578	6,120
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	49,578	6,120
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年12月1日 至2018年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年12月1日 至2019年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	75,936	32,887
減価償却費	146,518	182,358
貸倒引当金の増減額(△は減少)	661	△12,111
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	681	12,123
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△6,000	△9,000
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	4,068	4,518
受取利息及び受取配当金	△1,198	△1,532
為替差損益(△は益)	438	175
支払利息及び社債利息	6,355	3,301
固定資産除却損	2,363	1,237
売上債権の増減額(△は増加)	△8,990	124,567
たな卸資産の増減額(△は増加)	△167,921	△80,337
仕入債務の増減額(△は減少)	△5,096	△45,906
未払消費税等の増減額(△は減少)	△6,703	△917
その他	△100,288	△40,875
小計	△59,173	170,491
利息及び配当金の受取額	1,198	1,532
利息の支払額	△6,367	△3,271
法人税等の支払額	△39,080	△34,309
営業活動によるキャッシュ・フロー	△103,423	134,442
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△233,017	△243,989
無形固定資産の取得による支出	△5,483	△10,946
貸付金の回収による収入	685	1,610
その他	2,720	14,802
投資活動によるキャッシュ・フロー	△235,095	△238,523
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	150,000	180,000
長期借入れによる収入	50,000	—
長期借入金の返済による支出	△250,124	△40,884
リース債務の返済による支出	△7,665	△7,665
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△36,064	△36,326
財務活動によるキャッシュ・フロー	△93,854	95,123
現金及び現金同等物に係る換算差額	△438	△3,676
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△432,811	△12,633
現金及び現金同等物の期首残高	844,627	674,771
現金及び現金同等物の四半期末残高	411,816	662,137

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2017年12月1日 至 2018年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	化学工業薬品事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,602,984	19,071	3,622,056	—	3,622,056
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,602,984	19,071	3,622,056	—	3,622,056
セグメント利益	62,478	15,265	77,744	—	77,744

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2018年12月1日 至 2019年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	化学工業薬品事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,704,928	18,922	3,723,850	—	3,723,850
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,704,928	18,922	3,723,850	—	3,723,850
セグメント利益	15,015	15,116	30,131	—	30,131

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(多額の資金の借入)

当社は、今後の設備投資資金の支払いに備えて、取引金融機関から下記の通り、短期及び長期借入れによる資金調達を行いました。

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 借入先の名称 | 株式会社みずほ銀行 |
| (1) 借入金額 | 100,000千円 |
| (2) 借入金利 | 変動金利 (基準金利+スプレッド) |
| (3) 借入日 | 2019年6月17日 |
| (4) 返済期日 | 2019年12月30日 |
| (5) 返済方法 | 期日一括返済 |
| (6) 担保提供資産又は保証の内容 | 無担保・無保証 |
| 2. 借入先の名称 | 株式会社りそな銀行 |
| (1) 借入金額 | 370,000千円 |
| (2) 借入金利 | 固定金利 (金利スワップ併用) |
| (3) 借入日 | 2019年6月17日 |
| (4) 返済期日 | 2024年5月31日 |
| (5) 返済方法 | 期日一括返済 |
| (6) 担保提供資産又は保証の内容 | 無担保・無保証 |